

先天性横隔膜ヘルニア 啓発ライトアップ2026

先天性横隔膜ヘルニア(CDH)とは..

おなかの中で赤ちゃんの体がつくられる過程で、胸とおなかを分ける横隔膜がうまく形成されず、小腸・結腸・肝臓・胃などの臓器が胸側に入り込んでしまう病気です。重症で出生直後に亡くなる例から、無症状で過ごす軽症例まで幅広く、原因ははっきりしていません。そのため2015年に「小児慢性特定疾病」および「指定難病」に指定されました。手術後の生活も、医療的ケアが必要な方から、日常生活を問題なく送る方まで経過はさまざまです。

私たちの願い

すべてのCDHの方とご家族が、安心して暮らせること。
病気への理解が広がり、抱える不安や課題に寄り添える社会になることを願っています。



「知っている」それだけで、変わることがあります
見えないところで向き合っている人がいる、そんな疾患があることを知ってほしい

HP



#jcdh2026

主催：先天性横隔膜ヘルニア患者・家族会
後援：兵庫県、尼崎市、兵庫県看護協会
特別協力：沖縄アリーナ株式会社

Instagram

